

■特選「聖蹟の彩り」

身延山久遠寺の五重塔への大胆なアプローチで、こぼれるように咲き誇る枝垂れ桜を引き立たせた手法が個性的で、山梨の魅力的な風景を創り上げました。天に聳える相輪をカットすることは定石から言えば勇気のいることでしたが、桜を主とするための決断だったのでしょう。斜光を浴びて朱の濃度を増した塔の存在感は一向に損なわれることなく、桜と塔がまるで妍を競うように画面構成されているところが作品の見どころとなっています。